

■佐伯祐三 洋画家。パリの街角の風景画に自らの天分を見出し帰国、日本の風景への違和感で再渡仏するも、夭折。

さえきゆうぞう

子規句歌革新1898＝ 大阪市東淀川区に住職の子として生まれる。

日露戦争終・1905＝ 7歳：

韓国反日暴動1907＝ 9歳：

大逆事件判決1911＝13歳：尋常小学校の高等科へ進学。

明治天皇没・1912＝14歳：大阪府立北野中学校へ入学。
野球や水泳に興じた。

21ヶ条要求・1915＝17歳：_絵画に興味を持ち始め、梅田の赤松洋画研究所に通い、赤松麟作の指導を受ける。

民本主義・・1916＝18歳：

ロシア革命・1917＝19歳：中学卒業。上京して、_川端画学校洋画部で藤島武二に師事。

本格政党内閣1918＝20歳：_東京美術学校西洋画予備科に入学、本科に進む。

ベルサイユ条約・1919＝21歳：池田米子(洋画家)と知り合う。

大暴落・・・1920＝22歳：父死去。

原敬首相暗殺1921＝23歳：弟が結核のため死去。アトリエ付きの家を新築。_米子と結婚。

水平社結成・1922＝24歳：長女誕生。

関東大震災・1923＝25歳：東京美術学校を卒業、(関東大震災で自宅が焼け、渡欧準備を仕直して)_米子ともに渡仏。

護憲三派圧勝1924＝26歳：里見に連れられ*ヴラマンクを訪れ、アカデミズムと罵られ衝撃を受けるが、ヴラマンクからフォービズムの影響をうけ、またユトリロの抒情的作風をもとりいれて、神経の鋭い激情的でメランコリックな情感あふれる筆致でパリの街景を盛んに描く。「ノートルダム遠望」。

治安維持法・1925＝27歳：*サロン・ドートンヌに「煉瓦屋」と共に出品した「コルドヌリ(靴屋)」が入選。米子も入選している。

円本時代始・1926＝28歳：*帰国し、第13回二科展に滞欧作を初出品して特別出品扱いを受け、二科賞を受賞した。前田寛治らと一九三〇年協会を結成、その第1回展に滞欧作19点を出品したが、

金融恐慌・・1927＝29歳：_日本の風景の違和感から制作に苦しみ、再渡仏。制作に熱中し、表現主義的傾向を強めたが、

共産党事件・1928＝30歳：*肺患と神経衰弱のため、パリで夭折した。